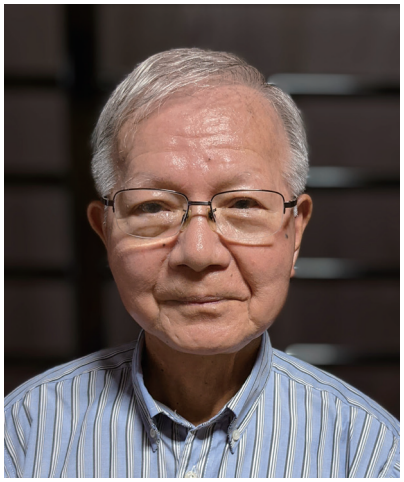
下村喜八［著］

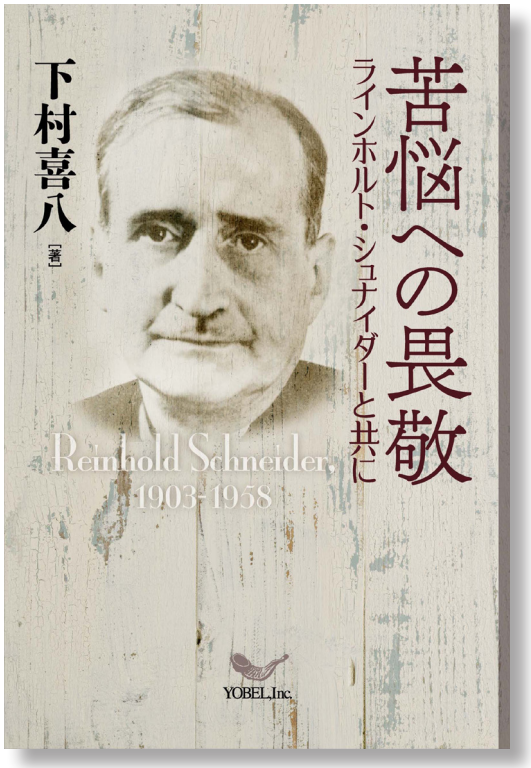
京都府立大学名誉教授、ドイツ文学

苦悩への畏敬

ラインホルト・シュナイダーと共に



10月1日刊行予定



四六判・256頁・定価1,870円
本体1700円＋税　ISBN978-4-909871-95-4 C0016

シュナイダーが生きているかぎり、ドイツは良心をもっている。

ナチス政権下にあってドイツの良心そのものを生きた詩人であり、思想家であったシュナイダー。深い敬慕を込めて辿る。著者のキリスト教理解を根底から一変させたその生き様に倣い、キリストを仰ぎ、この時代と闘う。

主な目次

序文

第1章　歴史の中で真理を生きる ―― ナチス時代のラインホルト・シュナイダー
はじめに／一　非合法出版／二　歴史の中の神の国／三　反キリスト／四　裸の十字架の前で

第2章　人格の衰退とその回復
一　現代性の意識／二　人格の衰退／三　人格とは／四　人格衰退の原因／五　時代の子として／六　キリストの従う

第3章　苦悩への畏敬
はじめに／一　ラインホルト・シュナイダーと病気／二　共苦としての愛／三　罪との闘い／四　苦悩の価値

第4章　我祈る、ゆえに我あり
一　我祈るゆえにわれあり／二　誠の道／三　霊と肉／四　存在と行為の全ては祈りとなる

第5章　苦悩する神の認識
一　預言者エレミヤとその預言／二　仲介者／三　共に苦しむ人／四　苦悩する神の認識／五　神なき世界に降りるキリスト／六　人格的関係のなかでの啓示／七　神と共なる生涯

第6章　神は私たちと共におられる

第7章　人生の目標 ―― わたしにとって、生きるとはキリスト
はじめに／一　持ち物／二　人間形成／三　イエス・キリスト／四　キリストと同じ姿に／五　目標に向かって／六　持つことの危険性／七　キリストの愛の内にある生

第8章　信仰によってのみ義とされる
一　福音の想起／二　心に記される律法／三　神と人間の正しい関係／四　律法による義／五　信仰による義／六　義とされつづけている／七　善魔／八　素朴な琴

第9章　キリストを愛しキリストに愛された人生

第10章　いわれなき愛

第11章　エーミル・ブルンナーの「社会倫理」
はじめに／一　「社会倫理」の基礎／二　批判的側面と建設的側面／三　個人倫理と社会倫理／四　創造の秩序／おわりに

第12章　政治と信仰――アンゲラ・メルケルの場合
はじめに／一　政治と信仰／二　政治の基盤／三　社会的市場経済／四　財政規律／五　脱原発／六　難民受け入れ

あとがき（初出し一覧）

著者紹介　下村喜八（しもむら・きはち）
1942年、奈良県に生まれる。1970年、京都大学大学院文学研究科修士課程修了。京都府立大学名誉教授。ドイツ文学。
著書：『生きられた言葉』（鳥影社、2014）
訳書：ラインホルト シュナイダー『カール五世の前に立つラス・カサス：南米征服者時代の諸情景』（未来社、1993）、『フラウミュンスター説教集Ⅰ』「ブルンナー著作集」⑦（教文館、1996）、『フラウミュンスター説教集Ⅱ』「ブルンナー著作集」⑧（教文館、1996）

ヨベル　YOBEL Inc.　〒113-0033　東京都文京区本郷4-1-1　T 03-3818-4851　F 03-3818-4858　http://www.yobel.co.jp